



第16回例会報告 *通算例会回数4086回目* (11月4日 於 今治商工会議所2階 大会議室)

【出席報告】

・会員数 55名
 ・出席数 42名
 ・欠席数 13名
 ・当日出席率 80.00%
 ・前々回修正出席率 75.93%

<欠席会員>原、平田、廣川、小堀、楠橋、宮道、大澤、坂本、吉田、吉武

〔免除会員〕檜垣(巧)、光藤、村上

<10/21 欠席補填>(10/18 今治北)藤田、菅、片山、冠、木村、桑森、尾越、矢野 (10/23 地区大会)久米

※メークアップしなくても、個人の出席率には影響しません。

11月定例理事会にて、11/18 より特例解除になることが決まりました。

◇**会長挨拶**・ロータリークラブと寄付は切っても切れない関係です。私は、寄付を誰かのためと思うと見返りを求めてしまうので、自分のため、つまりロータリアンとして成長するためと割り切ってます。先日の地区セミナーで、「ロータリアンは今日のお金・時間・心のゆとりがある者が、明日の為に何かする。その何かを会長が示してあげてください」と言われました。この三つのゆとりがある方が毎年ロータリー財団委員長をされているようです。片山委員長と楠橋会員は先日1,000ドルつまり11万円をロータリー財団にご寄附頂きました。大河内会員におかれては毎年沢山のご寄附を頂き、心より感謝申し上げます。

◇**幹事報告**・例会終了後、大会議室にて11月定例理事会を開催いたしました。

・11月のロータリーレートは1ドル114円となっております。

◇**親睦活動委員会・お誕生日スピーチ**

・八木正史会員:悔いの残らない40代を過ごし、50代を目指したいです。

・眞鍋次男会員:去年の目標『一日一万歩・脳トレ日30分』について、鹿児島から北海道まで歩いたことになり、脳トレもコロナ禍で1日30分以上と達成出来ました。

◇**広報会報委員会報告・11月号ロータリーの友読みどころ紹介**

今月は、P18~P29のヒューストンについての記事を紹介しました。2022年国際大会がヒューストンで開催されることやNASAジョンソン宇宙センターなどレストラン・公園・文化スポットの紹介がされています。

◇**青少年奉仕委員会より地区補助金活動&友の会創立70周年記念式典について**

11月14日(日)8時30分からしまなみの杜リゾートにて、友の会創立70周年記念式典&開講式を行います。その中で創立60周年になる今治少年少女合唱団の皆さんに合唱をして頂きます。会員の皆様でお時間がある方は式典と開講式に足をお運びいただけたら非常に有難く思います。皆様よろしくお願い致します。

ロータリー財団委員会アワー

◇**ロータリー財団委員会片山泰志委員長『ロータリー財団の概要と新たな資金モデルについて』**

①ロータリー財団とは…正式名称は〈国際ロータリーのロータリー財団※以下R財団〉で、1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名付けられました。ロータリアンをはじめ、財団支援者の自発的な寄付のみによって支えられており、国際ロータリーの目的を推進するための信託機関として、全資産を維持、投資、管理、運営しています。創立されて以来、世界各地での奉仕活動に寄附が役立てられ、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供しています。▼②R財団の歴史…6代目RI会長、アーチ・クランプ氏により「非常時基金」設立の提案が行われたのが財団の起源となります。当初は賛同を得られませんでした。1917年にアトランタ国際大会で、「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で慈善、教育、その他、社会奉仕の分野で、何かよいことをしようではないか」と提案され、新しく誕生した基金はこの数カ月後に、カンザス・シティRCから米貨26ドル50セントの最初の寄付金を受け取りました。基金がやがてR財団に発展していく、その過程の出来事でした。その後、第二次大戦を経てR財団は資金的にも活動的にも苦しい状況が続きましたが、1947年1月27日、ロータリー創設者のポール・ハリスが亡くなると、70カ国以上30万人以上のロータリアンが、彼の死を悼み、その偉業を讃えて多額の寄付を国際ロータリーへ寄せるようになり、財団は「ポール・ハリス記念基金」を設けました。そして、翌年の7月までに130万ドル以上の寄付が集まり、R財団の最初のプログラムである高等教育奨学金に充てられました。以後R財団は、資金的にも活動的にも発展を遂げるようになりました。▼③R財団の使命と存在意義…RIの使命は「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」と定義されています。RIとR財団は独立した機関ですが、理念・実務上は、ひとつのロータリーとして機能しており、一致団結することで、使命を果たすための強い土台を築いています。つまりR財団はRIの使命を達成するための手段であり、会員は会費を通じてRIを支援し、寄附を通じてR財団を支援しています。▼④ロータリー財団の基本的プログラムと寄附金について…〈ポリオプラス・プログラム〉1985年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目としてきました。世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体との協力を開始した1988年には125カ国で35万件以上の発症が確認されていましたが、以来、約30億人の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は99.



9%減少しています。〈ロータリー平和フェローシップ〉世界各地に現在7つあるロータリー平和センターでは、国際関係、平和研究、紛争解決といった関連分野の修士号、あるいは平和と紛争解決分野の専門能力開発修了証の取得を目指す学生に、ロータリー平和フェローシップ(奨学金)を提供しています。フェローシップは、授業料・入学費・食費等に充てられ、その資金は、地区からのDDF寄贈、冠名指定寄付等の資金で支えられています。その他、〈地区補助金(DG)〉、〈グローバル補助金(GG)〉、〈年次基金〉、〈恒久基金〉、〈使途指定寄付〉等のプログラム・寄付金があります。▼⑤新たな資金モデルについて…R財団が承認したグローバル補助金の総額は、補助金制度が開始された2013年度の4,730万ドルから2019年度9,560万ドルへと2倍以上に増えています。しかし、グローバル補助金の需要がそれ以上に増加しているため、受給資格のある全てのプロジェクトに補助金が下りるわけではないのが現状です。グローバル補助金における需要と供給のバランスを図り、さらに多くのプロジェクトを支援できるように、ロータリー財団は方針上の変更を承認し、2021年7月1日から新たな資金モデルでの運用が開始されました。基本的な資金提供の方法はこれまで通りで、年次基金への寄付金は3年間投資運用され、シェアシステムを通じてDDFとWFに配分されます。また投資収益につきましては、引き続き、寄付推進や一般管理運営などの財団の運営費に充てられます。変更点としては⑦DDFからポリオプラスへの寄贈について、これまでWFからDDFと同額が上乘せされていましたが、今後は上乘せ額が半分になります。⑧グローバル補助金へのDDF配分に対しWFの上乗せがこれまでの100%から80%になります。⑨運営費の分担配分が変更になり、配分割合がこれまでのWF45%・DDF50%から、残りの95%を半々の47.5%ずつへの配分に変更になります。⑩DDFの翌年度繰越額が高い状況が続いていることから、2026年7月1日から毎ロータリー年度末に5年以上繰り越しされたDDFは使用不可となり、未使用DDFは地区の決定により、その他の資金に充てられます。⑪その他の変更点として、運営費削減などのコスト削減努力、財団管理委員会の運営準備金、RI理事会の予算余剰からの臨時措置等が行われ、2020年度は、2,000万ドル近くの資金利用が可能となりました。▼最後に、特別寄附の目標額は達成していますが、皆様からの寄付は受け付けておりますのでご協力をよろしくお願い申し上げます。

次回例会(11月11日)

【 家族音楽例会 】

日 時 : 2021年11月11日(木) 12時30分～

場 所 : 今治国際ホテル クリスタルホール B

※11時30分より1階ラ・セールにてお食事をお済ませになり、例会開始の10分前にはお越し下さい。

2021年
11月11日(木)
今治国際ホテル

お食事 11:30～1階 La Sail
1階ラ・セールにて各自お食事をお済ませの上、例会場へは10分前までにお越しください

例会 12:30 2階 クリスタルホール B
2021-2022年度第17回(通算4067回)例会 家族音楽例会

2021-2022年度
第17回例会
家族音楽例会
ご家族をお誘い合わせの上
ご来場ください。

河端 梢
Kozue Kawabata PIANO RECITAL
ピアノリサイタル

プログラム Program
スカルラッティ/ソナタ
Op. 54n.1, 54n.2
モーツァルト/きらきら星変奏曲
K. 595
ショパン/ノクターン2番、革命のエチュード
Op. 10-2, Nocturne op. 9-2, Revolutionary Etude op. 10-12
ドビュッシー/喜びの島
Op. 74, Nocturne

河端 梢(かわばた・こずえ)
愛媛県出身。ウィーン国際ピアノコンクールにて第3位(1位なし)、Prof.ディヒラーコンクールにて第1位(ウィーン)、エウレカ国際音楽コンクールにて第2位(イタリア)など数々のコンクールで受賞。これまでも国内外でリサイタルを開催。国立音楽大学を卒業後渡欧、ウィーン市立音楽芸術大学にて学士号並びに修士号を取得。これまでにピアノをガハルト・ゲルトシュレーガー氏に師事し、アレキサンダー・イェンナ、マーガレット・フィンガーパート、メナヘム・プレスナー各氏のマスタークラスを受講。現在自身のファーストアルバム「Portrayal」がリリースされている。
公式HP: www.kozuekawabata.com

Rotary
今治ロータリークラブ

今治青少年ロータリー友の会
創立70周年記念

青少年のための
チームビルディング
(野外活動支援プロジェクト)

しまなみアースランド
2021.11.14 SUN
自然の中での活動を通して豊かな心身づくり

TEAM BUILDING 2021

8:30 しまなみの絆リゾート集合
しまなみの絆リゾート
9:00 創立70周年記念式典 & 開講式
開講式
9:30 移動
① 最初の森(しまなみアースランド内) ② 野外活動プロジェクト
9:45 プリーフィング/アイスブレイキング
チームビルディング開始
11:30 終了
12:00 アウトドアクッキング(BBQ)
振り返り/シェアの時間
12:45 食卓
14:00 片付け
14:30 閉講式/集合写真撮影
15:00 解散

欧米で開発された冒険教育の手法とサッカー日本代表の元監督である株式会社今治、夢スポーツ代表取締役の岡田武史氏のこれまでの経験と知見に、ファシリテーション(グループ活動支援)とコーチングの理論的裏付けを加味し、組織開発と人材育成に適するようプログラミングされた体験型学習を青少年に提供します。これは一人では解決できないような肉体的、精神的課題に対し、自然の中でメンバーひとりひとりそれぞれの能力を出し合い、協力しながら課題を解決していく学習です。この学習により、青少年が以下の社会性を養うことを目的とします。

1. たくさんのコミュニケーションを取ることでチームワークを高め、より良いグループを形成する。
2. 自然の中での活動を通して豊かな心身を養う。
3. 挑戦し、協力することで自分自身を知り、新たな気づきを促す。

今回のプロジェクトにはロータリアンも参加し、共に今治青少年ロータリー友の会創立70周年を祝い、更なる絆を深めたいと思います。

今治青少年ロータリー友の会は今治ロータリークラブが1950(昭和25)年に今治市内の小中高17校の男女各1名を表彰したことに端を発し、その受賞者の会が発展して1951(昭和26)年12月27日に発足しました。つまり本年12月27日で創立70年。現在の友の会メンバーは市内各中学・高校から推薦された各2名で構成され、私たちと共に地域への奉仕を行っています。

Rotary
今治ロータリークラブ